

あおり漁連

資源有限漁業無限

No.
117



CONTENTS

第8回青森県豊かな海づくり大会	1
青森県漁協職員財務管理研修会	3
平成11年度東北・北海道漁協専務参事懇談会	4
平成11年度青森県定置漁業協会研修会	5
全国漁業協同組合学校生募集	5
第19回むつ湾漁民野球大会	6
海難遺児募金ご協力ありがとうございます	7
青い羽根募金ご協力ありがとうございます	7
県内漁協紹介（野辺地町漁協）	8
主な水産に関する動き	9

1999 10



第八回青森県豊かな海づくり大会

豊かな 森と川と海 — 三沢漁港

「豊かな 森と川と海」をテーマに第八回青森県豊かな海づくり大会が、九月四日（土）三沢市の三沢漁港で開催された。大会には、県内の各漁協や水産団体関係者約三百人が参加し、盛大に行われた。

主催者を代表して大会実行委員長の植村正治会長が「平成二年に全国豊かな海づく



挨拶を述べる
植村実行委員長

り大会がこの地で開かれ、その後、各地で県大会を開いてきた。放流事業の重要性と併せて森を育てるという大きな我々の仕事に明確となり、古来より言われてきた『木に緑りて魚を求む』、『魚つき林』等、森を考へることこそ海を考へると言われるよう

になり、漁業関係者等でも植林運動が進められてきており、魚を放すことと森をつくることが一体化しなければならぬという考へ方が定着しつつある」と挨拶した。



挨拶を述べる
鈴木三沢市長

続いて、鈴木重令三沢市長は「大会を機に水産業活性化と自然保護に一層尽力してもらいたい」と開催市の挨拶を述べ、木村守男県知事（山口枢義副知事代読）、太田定昭県議会議長（間山隆彦県議会副議長代読）が祝辞を述べた。

この後、海岸清掃など環境保全に努めている四団体に「県知事賞」、水産業で他の模範となるような実績を挙げた人たちを対

象に県が本年度創設した「県水産大賞」に選ばれた二団体、一個人を表彰した。

式典終了後、ヒラメ、クロソイ、マコガレイの稚魚放流式が行われ、計二千五百匹が参加者と見学者から放流された。

○青森県知事賞

・三沢市立

・三川目小学校

・三沢市

・三沢第二中学校

・三沢米軍基地

・三沢市漁業協同

組合小型船舶会

○青森県水産大賞

・大戸瀬漁業協同組合

・平内町漁業協同組合

・川端昭治（尻労漁業協同組合長）



大会風景



県知事賞及び県水産大賞 受賞者

青森県漁協職員財務管理研修会

本会主催による「青森県漁協職員財務管理研修会」が去る八月二十三日（月）から二十四日（火）の二日間に渡り、県水産ビルに於て漁協担当職員六十名の参加により開催されました。

研修会は、



挨拶を述べる
植村会長



挨拶を述べる
足助県漁政課長

植村会長の主催者挨拶後、来賓として青森県水産部の足助漁政課長

挨拶の後、セ

ミナー青森専任講師の高橋

淑一氏と同専務の松木宏泰

氏の両名を講師として招き、漁協事業経営の改善、強化を図るために経営分析の仕方等の基礎的なことから、経営計画、目標管

理、資金繰りまでを習得することを目的として次の内容で研修がなされました。

研修初日

一、財務管理及び経営分析について

（講師 高橋淑一氏）



（株）セミナー青森
高橋講師

研修二日目

二、経営計画と目標管理について
三、資金繰りについて

（講師 高橋淑一氏）
四、事業経営のあり方と意識改革

（講師 松木宏泰氏）



財務管理風景

東北・北海道漁協専務参事 懇談会開催

去る八月二十六日（木）仙台市内の江陽グランドホテルにおいて、水産業の振興と漁業経営の発展を目的とした、平成十一年度東北・北海道漁協専務参事懇談会が各道県の専務・参事、系統団体関係者等約百六十名が出席し、開催されました。



宮城県 島津会長

懇談会は、冒頭に主催者を代表して島津宮城県漁協参事会長が、「漁

業を取りまく環境は非常に厳しいが、昨年の第六回全国漁協大会で採択された方針に沿って組織改革を遂行し、相互の連携を強化しながら、漁業を魅力ある産業にするよう協力していこう」と挨拶。参加道県を代表して前回開催県の薄井青森



青森県 薄井会長

県漁協専務参事「我が国の漁業を取りまく

環境は依然厳しく、漁協系統事業の運営は従来にまして大変な状況下にあり、系統漁業団体の経営体制、事業運営は従来の枠組みを超えた対応が求められているので、この懇談会で活発な意見交換等を行って貰いたい」と挨拶。続いてご来賓の渡辺宮城県

産業経済部次長、阿部宮城県漁連会長の挨拶の後、日本冷凍食品検査協会の岩沼仙台検査所長より「HACCPについて」と題して、わが国における衛生管理等の取り組み方の現状と問題点等についての基調講演が行われました。全体懇談会においては、

「変動する漁業環境への対応」をテーマに、始めに「ホタテウロ・リサイクル施設の稼働について」、北海道・八雲町漁協 細川専務理事より、次に「漁業権管理について」



青森県 泊金参事

青森県・泊漁協 金野参事より、続いて「漁業後継者対策について」岩

手県・重茂漁協 横田参事より、「秋鮭いくら加工事業のHACCP対応について」北海道・標津漁協 佐賀専務理事より、最後に「志津川町・歌津町水産資源増殖管理推

進協議会設立の歩み」について、宮城県・

志津川町漁協 芳賀参事より事例発表が行

われた後、共通提案事項として、「漁業基

本法の制定について」と題して、「漁業基

本法の早期実現について」北海道漁協専務

参事会 織田副会長より、全漁連が取りま

とめた漁業基本法の主要な政策案に対する

北海道意見として、「食料産業としての漁

業の明確な位置付けと資源管理型漁業の確

立を基本に置き、そのために必要な施策の

展開、基本理念を明確にした構築が必要で

あり、農業基本法にとらわれず、漁業の主

体制を踏まえたものとすべきである」等の

発表があり、

東北各県の

専務・参事

らから満場

の拍手を得

て、漁業基

本法の早期

実現に向け

での取り組

み方が一致

した。



懇談会風景

平成十一年度

青森県定置漁業協会研修会



青森県定置漁業協会
西崎会長
挨拶を述べる
の「平成十一年度青森

県定置漁業協会研修会」が八月二十日(金)、浅虫温泉「柳の湯」に於て当協会九会員五十名の定置漁業者等の参加により開催されました。

研修会は、西崎会長の主催者挨拶後、来賓として玉熊青森県水産部長(長谷川水産部次長代読)挨拶の後、県水産部次長の長谷川義彦氏とセミナー青森専務の松本宏泰氏の両名を講師として招き、次の内容で講演がなされ、参加者は今後の漁業経営向上に役立てようと熱心に聞き入っていました。

「21世紀に向けての 本県水産業のあり方について」

講師 長谷川義彦氏

一、日本人と魚食生活について



青森県水産部
長谷川講師

「鮮魚の風土と文化について」

- 講師 松本 宏泰氏
- 一、鮮魚にもいろいろありまして
 - 二、イカは日本人好み
 - 三、世界で好まれるサケ
 - 四、ブリには文化圏がある
 - 五、鮮魚の流通を考える



(株)セミナー青森
松木講師

**全国漁業協同組合学校 平成十二年度
(第六十一期)学生募集**

1、修業年限 一年

2、募集人数 五十人(男女共学)

3、入学資格

志操堅実、身体強健で、漁業協同組合系統団体の推薦を得た者が、次の掲げる各号のいずれかに該当し、本校の行う選考に合格した者。

(一) 一ヶ年以上漁業に従事し、また漁業協同組合系統団体に勤務中の者。

(二) 高等学校卒業者(平成十二年三月末までに卒業見込の者を含む)または、これらと同等以上の学力を有すると認められる者。

4、応募書類の提出期日 平成十一年十二月一日

(水) から平成十二年一月十七日(月)

5、学 費

(一) 学校会計へ納入する費用

八十六万円(入学科、授業料他)

(二) 学生自治会会計へ納入する費用

三十六万円(自治会費、食費)

※お問い合わせは、県漁連指導課まで

電話 ○一七七(二二) 四二一八

財団法人 漁村教育会 全国漁業協同組合学校

〒二七七―〇八五四

千葉県柏市豊町1丁目4番5号

電 話 ○四七一(四四) 八一二五―六

FAX ○四七一(四五) 五〇〇三



第19回むつ湾漁民野球大会

去る七月二十七日、むつ湾漁業振興会主催による「第十九回むつ湾漁民野球大会」が湾内十一漁協チームが参加し、平内町営球場他三球場で開催されました。



選手宣誓 脇野沢村漁協 田中和敏

開会式では、三津谷大会委員長（むつ振会長）が主催者の挨拶をした後、逢坂平内町長、後藤県漁連専務、更には原口県流通・ほたて振興室長よりご来賓の挨拶がありました。
また、本大会に選手として通算十五回以

上の出場選手に対し、その功績をたたえ表彰が行われました。この後、各チームはそれぞれの球場に分かれて熱戦を繰り広げました。

この結果、優勝は昨年に引き続き川内町漁協チームが見事に2年連続の優勝となり、その力を十分に見せつけてくれました。

試合結果は次のとおり。

- 優勝 川内町漁協
- 準優勝 脇野沢村漁協
- 第三位 平内町漁協A
- 第三位 むつ市漁協

*ホームラン賞

中 村 等（むつ市）

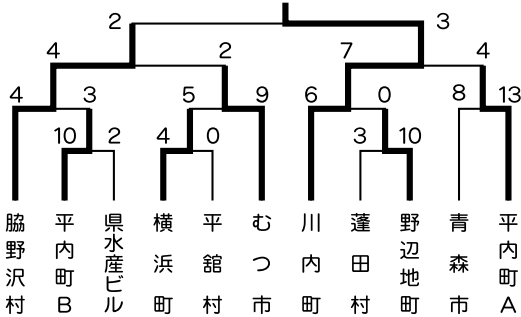
中 川 貴世仁（蓬田村）

*本大会通算十五回以上出場選手表彰者

白 石 正 勝（むつ市）

二本柳 信 一（むつ市）

優勝 川内町漁協



準優勝 脇野沢村漁協



優勝 川内町漁協

あおもり漁連

漁船海難遺児募金ご協力
ありがとうございます

平素より、皆様には漁船海難遺児に対し
まして、御理解と御協力を頂いております。
平成十一年五月から同年九月迄に、左記
の各氏、団体からご寄付を頂きました。

心温まるご厚志を賜り、厚くお礼申し上げ
ますとともに、今後とも御尽力頂きます
よう、お願い申し上げます。

御芳名（敬称略）

1. 一般個人寄付等

（五月） 佐藤立治

（六月） 青森県漁政課、青森県漁業振興課

（七月） 木村徳栄、新保宣嘉、

藤田匡、北海三郎

（八月） 青森県ほたて流通振興協会

（九月） 青森県漁連

2. 漁協系統募金

（八月） 泊漁業協同組合

合計金額 一、一〇二、八八八円



青森県水難救済会の青い羽根募金

ご協力ありがとうございました

「青い羽根募金強調運動」は毎年七月二十日の国民の祝日「海の日」を中心に運動を行っており、昨年同様七月一日～八月三十一日までの二ヶ月間実施した結果、下記の各社・各団体から心温まるご厚志を賜り厚くお礼申し上げます。

今回集まりました募金は、(社)日本水難救済会及び青森県水難救済会の海難救助出動手当て金、各救難所で使用する救難器具費に活用させていただきます。

募金合計額 三七〇,八九七円

御芳名(敬称略)

一、海上保安協会青森・八戸支部関係

青森海洋少年団、大畑振興建設(株)、青森県水産部、下北汽船(株)、青森マリーナ、みちのく銀行・本店、東日本フェリー(株)青森支店、青森海上保安部、(株)牧野組、

野村建設(株)、(株)柚谷組、(株)東北船用品、青森県消防防災課、海上自衛隊大湊地方隊、西部マリン、函館海運(株)八戸、(株)辰巳商会八戸営業所、青森勤労総合福祉センター、八戸市立水産科学館、八戸海上保安部、海上自衛隊八戸地方隊、八戸市役所、八戸港湾運送、八戸警察署、八戸航路標識事務所

2、漁協系統募金

大間越漁協、大戸瀬漁協、鱈ヶ沢漁協、車力漁協、十三漁協、下前漁協、小泊漁協、今別町西部漁協、今別町東部漁協、平館村漁協、蟹田町漁協、蓬田村漁協、後潟漁協、むつ市漁協、田名部漁協、脇野沢村漁協、佐井村漁協、蛇浦漁協、関根浜漁協、石持漁協、野牛漁協、白糠漁協、八戸市南浜漁協、階上漁協、青森県漁連、とまり港まつり実行委員会

県内漁協職員紹介

◆野辺地町漁協◆



1. 星野純一
2. 信用部課長
3. 道の駅巡り、次は温泉巡りでも
4. A型人間の典型。



1. 薄井久仁夫
2. 参事
3. ゴルフ、旅行（食べ歩き）
4. 優柔不断な対応。



1. 大山利男
2. 購買部係長
3. ずば抜けたもの無し、健康維持の運動少々
4. 存在感のない霞み的な人物。



1. 小又文男
2. 総務部課長
3. 登山、読書、音楽鑑賞、ボランティア、釣り、カラオケ
4. 無口で人の前に出るのが苦手、酒を飲むと話し好きで面は恐そうに見えますが、その実、優しい自分で独身です。



1. 野坂哲朗
2. 販売部課長
3. パチンコ
4. 時間とお金に余裕があれば1日中でもパチンコをしているパチキチです。



1. 木村文代
2. 販売部係長
3. 読書
4. 常にダイエットを気にしながらも間食の誘惑に負けてしまう優柔不断な人間です。



1. 木明高史
2. 信用部係長
3. スポーツ・野球の審判（高校野球）
4. 酒、タバコ、パチンコ何でもござれ、酒豪です。温泉が好きで家族で巡っています。



1. 杉山正七
2. 購買部係長
3. スポーツ観戦（野球）
4. 優しく、親切、いつでも笑顔（42才）



1. 平尾俊行
2. 販売部
3. 音楽、映画鑑賞・パチスロ
4. 平常心の優しい自分です。



1. 石田美幸
2. 信用部
3. 音楽鑑賞
4. 明るい性格。



1. 本間房信
2. 購買部
3. 野球、飲酒・カラオケ
4. 自他とも認める？行動力の本間！顔、体型がゴツイですが、ハートは蚤の心臓の優しい僕です。



野辺地町漁協

野辺地町は、下北半島の陸奥湾側の付け根に位置し、東南は東北町、北東は横浜町と六ヶ所村、西は平内町と接する人口約一万七千人の町である。気候は冷涼で、年間を通じて西の季節風が強く、また、夏場は太平洋から冷たいヤマセ（偏西風）が吹き、冬場は雪も多い。町は、下北・夏泊の両半島に挟まれた天然の良港を形成しており、日本最古の灯台といわれる『常夜燈』がある。今回は、この古くから港町として栄えた歴史がある野辺地町漁協の皆さん方を紹介致します。

1. 氏名
2. 担当業務
3. 趣味・特技
4. 自己PR

主な水産に関する動き

七月

八月

九月

七月

五日(月)

- ・むつ湾漁業青色申告会連合会、平成十年度研修会及び通常総会(青森市)
- ・全国漁婦連創立四十周年記念式典(東京都)

二十七日(火)

- ・第十九回むつ湾漁民野球大会(平内町)

二十八日(水)

- ・平成十一年度第二回検討委員会(日韓新協定対策漁業振興財団)(東京都)
- ・野辺地湾漁場環境保全対策協議会、第一回協議会(野辺地町)

二十四日(火)

- ・三厩地区漁協合併研究会設立総会(三厩村)

二十五日(水)

- ・密漁合同取締訓練(大間町)

二十六日(木)～二十七日(金)

- ・平成十一年度東北・北海道漁協専務参事懇談会(仙台市)

- ・平成十一年度合併実務研修会(東京都)

二十七日(金)

- ・青森県自然環境保全審議会(青森市)

二十八日(土)～九月一日(水)

- ・ICA大会、漁業委員会(カナダ)

九月

一日(水)

- ・JAS法改正説明会(弘前市)

四日(土)

- ・第八回青森県豊かな海づくり大会(三沢市)

六日(月)

- ・青森県漁協系統信用事業リスク管理強化委員会(青森市)

八日(水)

- ・水産基本政策検討会地方報告会(東京都)
- ・全国いか釣り漁業協議会、通常総会(東京都)

六日(火)

・平成十一年度青森県海洋法対策協議会総会(青森市)

八日(木)

・平成十一年度第一回秋サケ資源管理調整協議会(太平洋・日本海部会)(東京都)

九日(金)

・青森県魚市場協会、通常総会(青森市)
・ホタテ貝除毒栽培検討会(平内町)
・青森県漁協経営安定対策協会、平成十年
度通常総会(青森市)

十五日(木)

・漁獲可能量管理体制事業地域説明会(盛岡市)

・平成十一年度漁協指導及び漁業制度金融関係北海道・東北ブロック会議(仙台市)

十六日(金)

・第六回組合学校卒業生再教育研修会(東京都)

十九日(月)

・青森県さけます増殖振興協会、平成十年
度通常総会(青森市)

二十三日(金)

・平成十一年度第一回核燃料サイクル施設
沖合データー解析専門委員会(東京都)

二十六日(月)

・平成十一年度第一回合併等推進全国会議
(東京都)

二十九日(木)

・東日本産地魚市場協会、通常総会(花巻市)
・日韓全漁連会長、水協中央会長会議

三十日(金)

・川内川濁水防止対策現地調査(川内町)
・平成十一年度第二回小型いか釣り漁業ス
ルメイカTAC管理委員会(東京都)

八月

六日(金)

・日中新漁業協定の早期発効等に係る緊急
集会(東京都)

十一日(水)

・平成十一年度漁業系廃棄物処理対策事業
ヒアリング(青森市)

十九日(木)

・漁具投棄監視巡回及び投棄漁具回収事業
検討会(青森市)

二十日(金)

・平成十一年度さけふ化放流事業調査計画
説明会(青森市)

・青森県定置漁業協会、平成十一年度研修
会(青森市)

二十三日(月)

・平成十一年度さけます増殖事業に係る協
議会(西部・東部海区)(青森市)

二十三日(月)～二十四日(火)

・青森県漁協職員財務管理研修会(青森市)

九日(木)

・平成十二年度沿整事業等予算対策合同会
議(東京都)

十日(金)

・平成十一年度第一回ホタテガイ養殖業全
国推進検討会(東京都)

十四日(火)

・第十八回青森県原子力安全対策委員会
(青森市)

・平成十一年度全国漁船海難遺児育英事業
事務担当者会議(東京都)

・平成十一年度第一回青森県漁業就業者確
保育成連絡協議会(八戸市)

十六日(木)

・ほたて関係組合全体協議会(青森市)

十七日(金)

・サクラマス増殖事業に関する協議会(青
森市)

二十日(月)～二十二日(水)

・平成十一年度産地新システム事業に係る
先進地視察研修(礼文町)

二十八日(日)

・ほたて共済に関する組合長、常任役員会
議(青森市)

三十日(木)

・平成十一年度青森県漁港漁村整備事業推
進技術研修会(青森市)
・ほたて特定養殖共済推進会議(青森市)



「ほたて養殖顕彰碑」



「陸奥湾讃歌碑」

平成11年10月30日発行

◆発行◆

青森県漁業協同組合連合会

青森市安方一丁目1番地32号 TEL 0177-22-4211(代)

◆印刷◆

(有)北陽印刷 TEL 0177-88-2881